

児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和4年5月30日

事業所名 児童発達支援事業所 わたぼうし

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		・中庭のスペースを活用し遊べるようにしている ・隣接の施設の多目的ホールを使用している	雨の日も使えるように中庭の屋根の改修工事をして使えるようにしている ・高所に物を置かない対地震への配慮を実行する
	②	職員の配置数は適切である	○		基準を満たした人員配置を行っている。	・乱暴行為をする児童には特に目を離さない。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		児童が帰宅後は、毎日清掃・消毒を行っている。業務日誌を設け共通理解を心がけている。	児童が使用したおもちゃを定期的に消毒する
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		児童が帰宅後は、毎日清掃・消毒を行っている。業務日誌を設け共通理解を心がけている。	・児童が使用したおもちゃを定期的に消毒する
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○		職員が集まり毎月1回児童会議を行っている。	
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		連絡帳や送迎の際、保護者と情報交換をはかっている	

	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している		○		自己評価については、保護者等に公開を予定している。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○	サービス推進委員会を設け定期的に評価をしていただき業務改善につなげている。	
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している		○	職員が集まり会議などで オンラインの研修動画を活用している。	コロナ過で研修に参加できていないので研修動画を活用。
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している		○	随時又は 6 カ月に 1 回モニタリングを実施し児童の状態をチェックしている。	
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している		○	子どもの適応行動を把握するため職員間の情報共有を行っている。	リタリコ発達教材を使用し準備を進めている。
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている		○		

	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている		○	個別支援計画書を作成し、保護者に同意を得ながら支援している。	
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている		○	朝礼や会議で、状況や課題を共有するようにしている。	

	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		季節の行事を取り入れたり個別の支援内容を行ったりしている。	
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	○		朝の会の時に当日のスケジュールを確認し本人に周知同意を得る様にしている	
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		朝礼や児童会議で児童の支援内容を確認している。	
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		職員間で情報を共有し 日誌は、当日作成している。	
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		毎日の日誌は、作成し改善、配慮が必要な情報は共有している。	
	⑳	定期的モニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○			
関係機関や保護者との連携関係機	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		事業所管理者や主任が参加するようにしている。	初期対応を適切にする。1人の判断ではないように注意する
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている		○		依頼があれば連携できるように、準備はしている。
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	○			
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	○		生活状況票を作成し、すぐに連絡をとれるように整えている。	

関 や 保 護 者 と の 連 携	②⑤	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		日々の様子や支援内容に関して、情報提供できる体制を整えている。	
	②⑥	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		日々の様子や支援内容に関して、情報提供できる体制を整えている。	
	②⑦	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		定期的な担当者会議に参加し情報共有を図っている。	
	②⑧	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		○		実績がありません。

	②⑨	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		○		依頼があれば参加する準備はできている。
	③⑩	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		連絡帳や支援のあとに、その都度情報交換している。	
	③⑪	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている		○		モニタリング時に保護者とお話をする程度で家族支援をおこなっているが十分ではないので今後準備していく。
保 護 者 へ の 説 明 責	③⑫	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時に詳しい説明を行っています。	
	③⑬	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○			

任 等	③④	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		連絡帳や支援後に電話でやりとりできるようにしている。	専門的知見と現状（日々生活を共にしているもの）把握をしている者との見解をもって保護者への対応をしていく
	③⑤	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		保護者会は、開催していない。
	③⑥	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○			
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		子どもたちの活動の様子を定期的に配布している。	
	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意している	○			
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		
非 常 時 等 の 対 応	④⑪	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		風水害・地震・火災に分け年3回の避難訓練を行っている。	
	④⑫	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		風水害・地震・火災に分け年3回の避難訓練を行っている。	訓練の定着化する
	④⑬	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		事前に生活状況票を提出していただき服薬等の状況を確認している	
	④⑭	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○		今現在食物アレルギーはいないが食事箋を作成しアレルギー

					ギーのある人は医師の指示所を添付することになっている
④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		日々の日誌に記入し月ごとのひやりはつと事例集を残している	
④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		障害者虐待のオンライン研修に参加し利用者への虐待防止に努めている	
④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		現在、拘束を行った事例はありません。	

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

保護者等からの事業所評価の集計結果 (公表)

公表：令和 4年 5月 30日

事業所名 わたぼうし 保護者等数(児童数)：8 回収数：3 割合 38%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	3				明るくきれいで満足です	
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	2			1	普段の様子を見学していないので分かりませんが不安はないです	
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	2	1				
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	3					
適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	3				電話で聞き取りもしっかりしていただいていますし満足です。	
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	3					
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	2	1				
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	3					
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			1	2		

保護者への説明等	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	3					
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	3					
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	2		1			
非常時等	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	3					連絡帳にいつも色々書き込んでくださり感謝しています。
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	2		1			
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか			2	1		コロナ過ということもあり適切な配慮だと思っています
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	2	1				
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	2	1				小さなことでも相談しやすく助かっています
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	2	1				
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	3					
	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	2	1				

の 対 応	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	2	1				
	満 足 度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	3				毎日とても楽しそうに登園しています 毎日楽しそうに朝出掛けるので安心して送り出せます
		㉓	事業所の支援に満足しているか	3				本当に良くして頂いて感謝しかありませんこれからもよろしくお願いします。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。